

小鹿野町^お尾^{うち}の内県自然環境保全地域

1 指定理由

本地域は、両神山東岳を最高峰とし、前東岳から西だけを結ぶ山稜の北斜面に当たる尾の内沢源流地域で、シラベアオモリトドマツ群集下位単位コメツガ亜群集、ヒノキ-シノブカグマ群集下位単位アセビ亜群集、ブナ-ツクバネウツギ群集下位単位典型亜群集、シオジ-ミヤマクマワラビ群集及びジゾウカンバ群集など、温帯から亜高山帯下部の天然林が地形に応じ多彩に発達している。特に、ヒノキ-シノブカグマ群集下位単位アセビ亜群集は、前東岳と西岳を結ぶ山稜から派生する多くの急峻な尾根筋に広く発達しており、その規模は秩父山地のなかでも他に例を見ないものである。また、沢沿いに発達するシオジ林は、樹高20メートルにも及ぶもので、秩父山地から典型的なシオジ林がほとんど失われた現在、極めて貴重な存在である。

2 保全区域

所在地 小鹿野町河原沢字皆和田の一部

面積 115.00ヘクタール